

事務事業マネジメントシート（21年度実績と22年度計画）

22年度予算確定後 平成 22 年 3 月 24 日 作成
21年度決算把握後 平成 22 年 月 日 作成

事務事業名		金婚表彰事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連				
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤博康	
	施策	16	高齢者・障がい者の自立促進と社会参加			所属課	高齢者支援課	担当者名	佐藤里佳	
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進			所属班	高齢者保険班	(内線)	2114	
予算科目		会計	款	項	目	事業連番	法令根拠	熊本日新聞社事業		
		1	3	1	4	10434				
									成果優先度評価結果	11
									コスト削減優先度評価結果	6
終了、開始年度		☐ 21年度で終了 ☐ 22年度から開始		事業期間		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返(開始年度 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度 ~ 年度)				

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	熊日新聞社が県内市町村を巡回して、金婚表彰を行うのでその場所の提供と、表彰式の段取りを行う。天皇陛下の結婚を記念して熊本日新聞社が昭和34年から、県内全域で行っている。平均寿命が延びたことによって、金婚対象の夫婦が増加している。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	6月に区長さんを通じてその年の金婚該当者を報告してもらう。また、広報合志や熊日紙上で金婚表彰の周知をした。表彰熊日に金婚者の名簿を報告し9月中旬に金婚表彰伝達式を行う。
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費
【意見や要望】	対象夫婦から大変喜ばれている。
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	
① 手段(主な活動) 21年度実績(21年度に行った主な活動)(DO)	22年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
97組の内、出席73組の表彰伝達式を行った。	9月中旬に表彰伝達式を行う予定である。
④活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標	(単位)
⇒ア 金婚夫婦	組
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	⑤対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位)
その年の金婚夫婦	⇒ア 表彰式に参加した金婚夫婦 組
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	⑥成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位)
金婚を祝う	⇒ア 表彰式に参加した金婚夫婦の割合 %
*⑥成果指標設定の理由と平成22年度目標値設定の根拠	
意図が金婚を祝うのため、対象金婚夫婦が表彰式に参加することによって、多くの方から祝ってもらえるので、表彰式に参加した金婚夫婦の割合とした。	
毎年75%の出席割合のため。	

(2) 各指標・総事業費の推移			単位	19年度 実績(決算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	23年度 予定	24年度 見込	
④ 活動指標	ア	組		97	97	130	115	135	140	145	
	イ										
⑤ 対象指標	ア	組		73	73	100	75	101	105	108	
	イ										
⑥ 成果指標	ア	%		75	75	75	65	75	75	75	
	イ										
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円							
			都道府県支出金	千円							
			地方債	千円							
			その他	千円							
			繰入金	千円							
			一般財源	千円	82	107	176	116	175	200	200
	(A) 事業費計		千円	82	107	176	116	175	200	200	
	(A)のうち指定経費		千円								
	(A)のうち時間外、特勤		千円								
	人件費	正規職員従事人数	人	7	5	7	4	4	4	4	
		延べ業務時間	時間	182	144	182	112	112	112	112	
		(B)人件費計	千円	723	576	724	446	446	446	446	
トータルコスト(A)+(B)			千円	805	683	900	562	621	646	646	

総トータルコスト	
全体計画	
～	年度
(期間限定複数年度のみ記載)	
	0
	0
	0

合志市

事務事業名	金婚表彰事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	--------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

※原則は21年度の事後評価、ただし複数年度事業は21年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①21年度目標達成度評価 事務事業の前年度実績は前年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	☐ 達成した	☒ 達成しなかった ⇒【理由】 入院等で表彰式に出席できない人がいるため。
	②22年度目標達成見込み 事務事業の本年度目標値に対して本年度の見込みはついているか？	☒ 目標達成見込みあり ⇒【理由】	☐ 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになっていないか？	☒ 向上余地がある ⇒【理由】	☐ 向上余地がない ⇒【理由】 金婚表彰を継続していく必要がある。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	☐ 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☒ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】	☐ 他に手段がない ⇒【理由】 金婚夫婦を表彰する事業が他にないため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 熊日主催であり、賞状、記念品は熊日が準備するので、市の負担は低価であるため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	☐ 削減余地がある ⇒【理由】	☒ 削減余地がない ⇒【理由】 対象夫婦の把握は区長さんから提出および個人での申出があり、その後の事務は最低限のことであるため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 公平・公正である ⇒【理由】 夫婦仲良く長年頑張ってこられたことについて、表彰を行うのは低価で済んでいるため、市民からの苦情はない。
	⑧行政の役割分担の適正化 事務事業のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行出来ないか？	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】	☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 対象夫婦の把握は区長さんに依頼しているため。

3 評価結果の総括(SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

金婚表彰を継続していく必要がある。
区長さんを通じて金婚表彰対象夫婦を報告や、広報合志に金婚表彰の周知、熊日紙上での記事掲載があったが、それでも対象から漏れるケースがあるので、表彰式に出席できない課題がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統廃合・連携 ☐ 事業のやり方改善(有効性改善) ☐ 事業のやり方改善(効率性改善) ☐ 事業のやり方改善(公平性改善) ☐ 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><th rowspan="3">成果</th><th>向上</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>維持</th><td></td><td></td><td></td></tr><tr><th>低下</th><td></td><td></td><td></td></tr></table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					

(3) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策